

第 1 号 報 告

事 業 報 告 書

— 平成29年度 —

(第9期)

自:平成29年4月1日

至:平成30年3月31日

1 当学会の現況

会員数の推移

会員種別	平成29年3月31日現在	入会者	退会者	平成30年3月31日現在
正会員	175	30	15	190
学生会員	32	5	9	23
賛助会員	12	2	2	12
公益会員	3	1	0	4
名誉会員	0	0	0	0
総会員数	222	38	26	234

役員に関する事項

現在の役員は以下の通りである。

代表理事 中川 慎二 会長
理事 今野 雅
理事 大島 聡史
理事 酒井 秀久
理事 柴田 良一
理事 高木 洋平
理事 西 剛伺
理事 福江 高志
理事 藤岡 照高
理事 宮部 正洋
理事 森本 賢治
監事 野村 悦治

主たる事務所の住所

東京都新宿区荒木町5番地14-201

事務局の住所等

東京都新宿区荒木町5番地14-201 (株式会社 ワールドミーティング 内)

TEL: 03-3350-0363 FAX: 03-3341-1830

2 事業活動報告

平成29年度の事業計画に沿って活動の概況を報告する。

2.1 社員総会

2.1.1 定時社員総会

開催日時

平成29年6月23日(金曜日) 16:50～17:50

開催場所

ルーテル市ヶ谷センター 会議室

正会員現在数及び定足数

正会員現在数： 190名 定足数： 96名

出席正会員数： 108名

(内訳)

出席者数： 25名
電磁的方法による委任： 83名
うち
議長を代理人にする者： 83名
出席する他の正会員を代理人にする者： 0名

議事

報告事項 第1号報告 『平成28年度事業報告』

決議事項 第1号議案 『平成28年度決算報告』 可決
第2号議案 『平成29年度事業計画』 可決
第3号議案 『平成29年度収支予算』 可決
第4号議案 『理事及び監事の改選』 可決
第5号議案 『平成30年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』 可決

2.2 公益目的事業

2.2.1 催事

2.2.1.1 平成29年度オープン CAE 講習会 (実行委員長:酒井理事)

開催日

2017年6月23日

開催場所

ルーテル市ヶ谷センター

概要

講習会、懇親会 ※詳細な内容については学会ホームページ参照

参加者

講習会:41名、懇親会:24名

2.1.1.2 オープン CAE シンポジウム2017 (実行委員長:柴田理事)

開催日

2017年12月7日(トレーニング)、8日(施設見学、講演会)、9日(講演会)

開催場所

名古屋大学 情報基盤センター&ES 総合館

概要

講演会、トレーニング、懇親会、施設見学 ※詳細な内容については学会ホームページ参照

参加者

講演会:119名、トレーニング:173名、懇親会:44名、施設見学:27名

特記事項:付帯トレーニングの一部(固体分野、熱流体分野)に対して(社)日本機械学会の計算力学技術者検定事業による講習会認定を継続申請した。

2.2.1.3 オープン CAE サマースクール2017 (実行委員長:大嶋元啓氏)

開催日

2017年9月8日～10日

開催場所

富山県立大学(富山県射水市)、呉羽ハイツ(富山県富山市)

概要

講義・演習、懇親会 ※詳細な内容については学会ホームページ参照

参加者

16名

2.2.2 委員会活動

2.2.2.1 V&V 委員会 (委員長:今野理事)

OpenFOAM コード検証勉強会を立ち上げ、OpenFOAM のコード検証および計算結果の検証を行った。九州大学情報基盤研究開発センターのスーパーコンピュータ ITO で OpenFOAM ベンチマークを行い、計測結果をレポジトリにコミットした。オープン CAE 学会の GitHub レポジトリを GitLab.com に移行した。

2.2.2.2 広報・コミュニティ委員会 (暫定委員長:西理事)

広報活動の一貫として、会員向けのニュースレター2017年第01号～第05号、2018年第01号を配信した。

賛助会員向けの活動として、2017年8月29日に「昨年の意見交換会の振り返り」、「オープン CAE シンポジウム2017に関する要望」を議題として、賛助会員との意見交換会を開催した。特に後者については、オープン CAE シンポジウム2017で実施予定のイベントについて情報共有を行うとともに、協力を依頼し、シンポジウムで実行した。

2.2.2.3 Web 編集委員会 (委員長:高木理事)

各担当理事による情報発信を積極的に進めることとし、学会活動の基盤としての活用方法を検討した。コンテンツ管理システムの WordPress を利用して Web コンテンツを整理し、会員が学会が発信する情報を速やかに入手できるようにした。

2.2.2.4 出版・編集委員会 (暫定委員長:西理事)

学会の論文名をオープン CAE 学会論文集と定め、公開及び準備を進めた。論文投稿規定、査読フローを制定するとともに、平成30年度総会開催に合わせて、第1号論文を公開した。

2.2.2.5 国際化推進委員会 (委員長:中川会長)

オープン CAE シンポジウム等の学会行事について、英語での情報公開を進めた。ESI-OpenCFD Global Operations Director の Fred Mendonca 氏から、OpenFOAM 開発とコミュニティの協力に関する方針の説明を受け、日本のコミュニティの状況を説明した。

2.2.2.6 資料翻訳委員会 (委員長:藤岡理事)

OpenFOAM ユーザガイド・プログラマズガイドの和訳を継続し、新バージョンへの対応を検討した。EdF 作成の Salome-Meca トレーニング教材の翻訳を進めた。

2.2.2.7 モデルベースデザイン委員会 (委員長:西理事)

平成29年度に新規に委員会を立ち上げ、①研究活動、②講習会、外部連携を通じた活性化活動を開始した。①については日頃の研究会活動の成果を発表する場として昨年10月にモデルベースデザイン委員会公開研究会を主催、オープン CAE シンポジウム2017において1D-CAE・企業内利用セッションにて委員による発表を行った。②については昨年6月の総会付帯講習会、オープン CAE シンポジウム2017にて OpenModlica 講習を実施するとともに、今年5月に開催された Japanese Modelica Conference 2018にオープン CAE 学会として協賛した。

2.2.2.8 表彰委員会 (委員長:中川会長)

平成29年度の田辺賞受賞者を選考し、吉田正典氏と決定した。オープン CAE シンポジウム2017における最優秀学生講演賞受賞者を山口太一氏(東京大学)、優秀講演賞受賞者を藤田耕平氏(岐阜高専)と決定した。オープン CAE シンポジウム2017において表彰した。

2.3 収益事業

2.3.1 講師派遣事業

平成29年度には、講師派遣の依頼はなかった。

2.4 理事会

2.4.1 第1回理事会

開催場所 目黒区菅刈住区センター

開催日時 平成29年5月13日 13時00分～17時00分

議事 決議事項 第1号議案 『第8回定時社員総会の開催について』
第2号議案 『平成29年度オープン CAE 講習会の開催概要について』
第3号議案 『オープン CAE シンポジウム2017の開催概要について』
第4号議案 『サマースクール2017の開催概要について』

協議事項 ① 委員会の体制について

報告事項 ① 当学会 Web サイトのアクセス解析について
② 資料翻訳について
③ モデルベースデザイン勉強会について
④ 勉強会支援策について

会議の概要

(決議事項)

第1号議案 『第8回定時社員総会の開催について』

本議案は、第8回定時社員総会の概要及び招集について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- ・ 開催日時：平成29年6月23日 16:50～17:50
- ・ 開催場所：ルーテル市ヶ谷センター会議室
- ・ 議案：

(報告事項)

- ・平成28年度事業報告

(決議事項)

- ・平成28年度決算報告
- ・平成29年度事業計画
- ・平成29年度収支予算
- ・理事及び監事の改選
- ・平成30年度事業計画及び収支予算についての暫定処置
- ・欠席社員の議決権行使：電磁的方法により委任状を提出することができる。

本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

議案書は事務局において作成することとし、平成29年度収支予算へ各委員会の予算を計上することとした。

第2号議案 『平成29年度オープン CAE 講習会の開催概要について』

本議案は、第8回定時社員総会に付随して開催する平成29年度オープン CAE 講習会の概要について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- ・講習会担当:酒井理事
- ・プログラム:
 - ・講習(2部屋×4コマ) ①9:20-10:50 ②11:00-12:30 ③13:30-15:00 ④15:10-16:40
- ・講習内容:
 - ・会議室1)①熱流体入門(中川) ②熱流体初級(中川) ③メッシュ生成(野村) ④熱設計と伝熱性能評価(福江)
 - ・会議室2)①固体 FEA 入門(藤岡) ②固体 FEA 初級(藤岡) ③DEXCS-WinXistr(柴田)
 - ④モデルベースデザイン(西)

本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

第3号議案 『オープン CAE シンポジウム2017の開催概要について』

本議案は、オープン CAE シンポジウム2017の概要について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- ・日程 2017年12月7日(木)、12月8日(金)、12月9日(土)
- ・会場 名古屋大学
- ・運営方針案(実行委員会、主な業務、講演会、予算)について確認した。

本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

第4号議案 『サマースクール2017の開催概要について』

本議案は、サマースクール2017の概要について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- ・日程 2017年9月8日(金)、9月9日(土)、9月10日(日)
- ・会場 1日目:富山県立大学(富山県射水市黒河5180)
2日目:呉羽ハイツ(富山県富山市吉作4103-1)
- ・運営方針案(講演会、参加費)について確認した。

本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

(協議事項)

① 委員会の体制について、下記のような意見が出された。

- ・広報・賛助委員会とコミュニティ委員会を、広報・コミュニティ委員会に統合する。
- ・広報・コミュニティ委員会の暫定委員長は西理事とする。
- ・広報・コミュニティ委員会の委員長は理事にすべきだが、記事を作るのは理事以外の方にも参加していただく。

(報告事項)

① 当学会 Web サイトのアクセス解析について

- ・高木理事より、Web サイトのアクセス解析のレポートが提示され、今後の Web 編集に活用したい、との報告があった。

② 資料翻訳について

- ・藤岡理事より、eDF 作成の Salome-Meca トレーニング教材の翻訳事業計画について報告があった。

③ モデルベースデザイン勉強会について

- ・西理事より、モデルベースデザイン研究に関する活動として、まず勉強会を開催していく、との報告があった。

④ 勉強会支援策について

- ・西理事より、勉強会支援策として、会場確保に関する支援策を明確化したい、との報告があった。

2.4.2 第2回理事会

開催方法 電磁的方法による決議(電子メールによる表決)

開催期間 平成29年6月20日～21日

議事 決議事項 第1号議案 『平成28年度事業報告書』
第2号議案 『平成28年度決算報告書』
第3号議案 『平成29年度事業計画書』
第4号議案 『平成29年度収支予算書』
第5号議案 『理事及び監事の改選』
第6号議案 『平成30年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』
第7号議案 『公益財団法人計算科学振興財団との相互会員加入』

会議の概要

(決議事項)

第1号議案 『平成28年度事業報告書』

本議案は、第8回定時社員総会で報告する第1号報告『平成28年度事業報告書』について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第8回定時社員総会議案書の第1号報告『平成28年度事業報告書』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第2号議案 『平成28年度決算報告書』

本議案は、第8回定時社員総会に提案する第1号議案『平成28年度決算報告書』について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第8回定時社員総会議案書の第1号議案『平成28年度決算報告書』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第3号議案 『平成29年度事業計画書』

本議案は、第8回定時社員総会に提案する第2号議案『平成29年度事業計画書』について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第8回定時社員総会議案書の第2号議案『平成29年度事業計画書』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第4号議案『平成29年度収支予算書』

本議案は、第8回定時社員総会に提案する第3号議案『平成29年度収支予算書』について、理事会の承認を求めるものであり、原案は、第8回定時社員総会議案書の第3号議案『平成29年度収支予算書』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第5号議案『理事及び監事の改選』

本議案は、第8回定時社員総会に提案する第4号議案『理事及び監事の改選』について、理事会の承認を求めるものであり、原案は、第8回定時社員総会議案書の第4号議案『理事及び監事の改選』に記載されている。本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第6号議案『平成30年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』

本議案は、第8回定時社員総会に提案する第5号議案『平成30年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第8回定時社員総会議案書の第5号議案『平成30年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第7号議案『公益財団法人計算科学振興財団との相互会員加入』

本議案は、公益財団法人計算科学振興財団との間における、平成29年度の以下の相互加入について、理事会の承認を求めるものである。

- ・計算科学振興財団がオープン CAE 学会の公益会員に10口加入
- ・オープン CAE 学会が計算科学振興財団の賛助会員に1口加入

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

2.4.3 第3回理事会

開催場所 ルーテル市ヶ谷センター 第2会議室
開催日時 平成29年6月23日 18時00分～18時15分
議事 決議事項 第1号議案『代表理事の選任について』

会議の概要

(決議事項)

第1号議案『代表理事の選任について』

出席理事によって平成29年度、30年度の代表理事の選任投票がなされた。開票の結果、中川慎二理事が選任され、満場異議なく承認された。被選任者の 中川慎二 は、席上においてその就任を承諾した。

2.4.4 第4回理事会

開催場所 目黒区菅刈住区センター
開催日時 平成29年8月12日 13時00分～17時00分
議事 決議事項 なし
 協議事項 ① ニュースレター及び外部へのイベント情報配信について
 ② 資料翻訳の謝金規定について
 報告事項 ① シンポジウム2017について

- ② 2017年6月23実施の総会付帯講習会(トレーニング)について
- ③ サマースクール2017について
- ④ 学会の法人登記について
- ⑤ Web 編集について
- ⑥ 論文誌について
- ⑦ 国際化推進について
- ⑧ 資料翻訳について
- ⑨ モデルベースデザイン委員会について
- ⑩ OpenFOAM コード検証勉強会について

会議の概要

(協議事項)

- ① ニュースレター及び外部へのイベント情報配信について、下記のような意見が出された。
 - ・ ニュースレターは会誌という位置づけで存続する。
 - ・ 外部へのイベント情報配信は、各イベント担当者が文面を作成し、事務局が配信する。
- ② 資料翻訳の謝金規定について、下記のような意見が出された。
 - ・ 現行の謝金規定では、謝金を従事時間で支払うことになっているが、成果物一式や成果物の字数で支払うことも今後検討すべきである。

(報告事項)

- ① シンポジウム2017について、柴田理事より、各実行委員の役割分担の報告があった。
- ② 2017年6月23実施の総会付帯講習会(トレーニング)について、酒井理事より、収支は約18万円の黒字との報告があった。
- ③ サマースクール2017について、中川会長より、収支は5万円程度の赤字となる見込みとの報告があった。参加申込状況は12名で、内訳は社会人5名、学生7名とのことであった。
- ④ 学会の法人登記について、事務局の金田氏より、役員の退任・重任・就任の登記手続きが完了したとの報告があった。
- ⑤ Web 編集について、高木理事より、以下の報告があった。
 - ・ ニュースレターアーカイブを整理した。
 - ・ 賛助会員紹介記事の第一回目を掲載した。
- ⑥ 論文誌について、西理事より、以下の報告があった。
 - ・ 委員会メンバは理事全員とし、少しずつ理事会外のメンバを入れていく。
 - ・ 論文テンプレートを作成する。
 - ・ 論文投稿規程を作成する。
- ⑦ 国際化推進について、中川会長より、オープン CAE シンポジウム2016の講演タイトル等の英語ページを作成したとの報告があった。
- ⑧ 資料翻訳について
 - ・ 藤岡理事より、Salome_Meca の EdF 公式トレーニング教材の翻訳について進捗報告があった。
 - ・ 高木理事より、OpenModelica 翻訳に取り組みたいとの報告があった。
- ⑨ モデルベースデザイン委員会について、西理事より、以下の報告があった。
 - ・ オープン CAE シンポジウム2017で、モデルベースデザインのセッション及びトレーニングを持つ。
 - ・ シンポジウムとは別に、セミナーもしくは公開研究会を開催する方向で企画を進める。
- ⑩ OpenFOAM コード検証勉強会について、今野理事より、2017年9月16日に横浜国立大学で開催されるオープン CAE 勉強会@関東(流体など)から開始するとの報告があった。

2.4.5 第5回理事会

開催場所	目黒区菅刈住区センター
開催日時	平成29年10月7日 13時00分～17時00分
議事 決議事項	第1号議案 『 第9回定時社員総会の開催について 』 第2号議案 『 オープン CAE ハッカソンの学会主催について 』 第3号議案 『 Salome_Meca 資料翻訳事業の謝金支払について 』 第4号議案 『 2017年の田辺賞について 』
協議事項	① 旅費規程について ② 講習会について ③ Web ページの英語化について
報告事項	① オープン CAE シンポジウム2017について ② サマースクール2017について ③ 賛助会員との意見交換会について ④ Web 編集について ⑤ モデルベースデザインの公開研究会について ⑥ OpenFOAM コード検証勉強会について

会議の概要

(決議事項)

第1号議案 『 第9回定時社員総会の開催について 』

本議案は、第9回定時社員総会の概要及び招集について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- 開催日時：平成30年6月22日 16:50～17:50
- 開催場所：ルーテル市ヶ谷センター会議室
- 議案：

(報告事項)

- 平成29年度事業報告

(決議事項)

- 平成29年度決算報告
- 平成30年度事業計画
- 平成30年度収支予算
- 平成31年度事業計画及び収支予算についての暫定処置
- 欠席社員の議決権行使：電磁的方法により委任状を提出することができる。

本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

議案書は事務局において作成することとし、平成30年度収支予算へ各委員会の予算を計上することとした。

第2号議案 『 オープン CAE ハッカソンの学会主催について 』

本議案は、地方講習会の代替イベントとしてオープン CAE ハッカソンを学会で主催することについて、理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- 担当 高木理事、酒井理事
- 開催時期 2017年3月
- 内容
 - オープン CAE のカスタマイズや解析など、オープン CAE に関わることを複数名のチームを作って行う。
 - 具体的なテーマは当日参加者の中から募り、興味のあるテーマに参画していただく。

・2日目午後に取り組みを発表し、お互いの成果を共有する。

本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

第3号議案 『Salome_Meca 資料翻訳事業の謝金支払について』

本議案は、Salome_Meca 資料翻訳事業の謝金支払について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- ・資料翻訳委員会の予算額を上限とし、所要時間を報告の上、謝金規程に従って時給精算とする

本議案について、謝金を受け取る理事を除いた出席理事全員一致で可決した。

第4号議案 『2017年の田辺賞について』

本議案は、2017年の田辺賞について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- ・田辺賞を吉田正典氏に授与する。
- ・授与理由:初代会長、理事、監事などを歴任し、本学会の発展に大きく貢献した。

本議案について、出席理事全員一致で可決した。

(協議事項)

① 旅費規程について、下記のような意見が出された。

・業務上の移動や宿泊を行う際に費用節約のため旅費と宿泊費が明確に分離されないパッケージ旅行商品を用いた場合、旅費規程第5条(宿泊費10000円まで)および第6条(旅費・宿泊費は実費)を逸脱しない限り、実費による支給を受けることができる。この際、費用の中に通常の範囲における食費が含まれていても良い。

・航空券の価格を抑えて旅費支給を節約することは重要であるが、購入タイミングによる価格変動や、航空会社や便ごとにトラブル時の補償等に利点欠点が存在することから、常に最安値の航空券を購入することは要求しない。

・概ね朝7時前の出発および夜10時以降の帰宅を必要とする業務については前泊および後泊を認める。

② 講習会について、下記のような意見が出された。

・静岡技術士会の Salome-meca 研究会と協力して地方講習会を行うことを今後検討する。

③ Web ページの英語化について、下記のような意見が出された。

・海外の方が入会することを考慮し、Web ページを英語化する必要がある。

・学会の状況がわかるように、学会の紹介ページ等を英語化する。

・Web ページ英語化の専任者がいると良い。

(報告事項)

① オープン CAE シンポジウム2017について、柴田理事より、以下の報告があった。

・現在の準備状況について進捗報告を行った。

・一般講演の申し込みを開始した。

② サマースクール2017について、中川会長より、以下の報告があった。

・サマースクール2017は16名の参加があり、参加者には概ね好評であった。

・収支は、参加予定者のキャンセルの為、約46,000円の赤字となった。学会員への還元額の大きさを考慮すると赤字額は大きくない。

③ 賛助会員との意見交換会について、西理事より、以下の報告があった。

・2017年8月29日に賛助会員との意見交換会を開催した。議題は「昨年の意見交換会の振り返り」「オープン CAE シンポジウム2017に関するご要望」で、アクションアイテムとして以下2点についてフォローすることになった。

・オープン CAE 学会のページビュー全体が分かる情報を作成し、情報共有する。

・オープン CAE シンポジウム2017の参加者数を情報共有する。

- ④ Web 編集について、高木理事より、以下の報告があった。
 - ・ 過去1年間分のアクセス解析を広報・コミュニティ委員会に提供した。
 - ・ 各編集委員向けの WordPress の手順マニュアル・ルールを今後整備する。
- ⑤ モデルベースデザインの公開研究会について、西理事より、以下の報告があった。
 - ・ 2017年10月14日(土)に公開研究会を開催する予定で、題目は以下の通りである。
 - ・ 「OpenModelica 入門チュートリアル」(植田委員、30分)
 - ・ 「Modelica.Media と Modelica.Fluid の概要紹介」(田中委員、60分)
 - ・ 「熱回路網の構築と独自要素コンポーネントの実装」(西理事、30分)
 - ・ 「Modelica.Mechanics の Example の調査状況紹介」(酒井委員、30分)
- ⑥ OpenFOAM コード検証勉強会について、今野理事より、以下の報告があった。
 - ・ 第1回は2017年9月16日(土)、第67回オープン CAE 勉強会@関東(流体など)内で開催した。
 - ・ 第2回は2017年10月21日(土) 第68回オープン CAE 勉強会@関東(流体など) 内で開催予定である。

2.4.6 第6回理事会

開催場所	名古屋大学
開催日時	平成29年12月8日 11時30分～12時15分
議事 決議事項	第1号議案 『2nd Japanese Modelica Conference への協賛依頼について』
協議事項	なし
報告事項	① OpenCAE ハッカソンについて ② サマースクール2018について ③ 論文誌について ④ モデルベースデザインの公開研究会について ⑤ シンポジウム2017の講演賞について

会議の概要

(決議事項)

第1号議案 『2nd Japanese Modelica Conference への協賛依頼について』

本議案は、2nd Japanese Modelica Conference への協賛依頼について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- ・ 依頼者 トヨタ自動車 平野様
- 本議案について、出席理事全員一致で可決した。

(報告事項)

- ① OpenCAE ハッカソンについて、酒井理事より、以下の現状案の報告があった。
 - ・ 開催日時 第一候補:2018年3月10日、3月11日
第二候補:2018年3月3日、3月4日
 - ・ 開催場所 関東の三浦マホロバマイズ 本館プラン1泊3食付プラン
 - ・ 最低催行人数 10名
 - ・ サマースクールと内容の違いをより明確化する。
 - ・ 当日のスケジュールは学会として管理し、参加者任せはしない。
- ② サマースクール2018について、中川会長より、以下の報告があった。
 - ・ 開催場所について、第一候補のさる小は予約抽選にはずれたため、第二候補のおんやど恵で調整予定である。
- ③ 論文誌について、西理事より、以下の報告があった。
 - ・ 論文規定の最終案及び査読フォームを作成した。

- 論文誌名等を、委員の投票により決定した。
 - 以上の決定により、論文集を開始させる。
- ④ モデルベースデザインの公開研究会について、西理事より、2017年10月14日(土)にモデルベースデザイン委員会公開研究会を開催したとの報告があった。
- ⑤ シンポジウム2017の講演賞について、中川会長より、以下の報告があった。
- 学生優秀講演の審査について:各セッションの座長へ審査依頼書を配布し、各セッションの複数名の参加者に審査を依頼する。全セッションから集めた審査結果から、得点の高いものを表彰対象とする。
 - 社会人博士課程学生は選考対象外とする。当日の採点結果を鑑み、最優秀賞1名、優秀賞1～3名程度への表彰を検討する。採点結果から人数の判断は福江理事が決定する。

2.4.7 第7回理事会

開催場所	目黒区菅刈住区センター
開催日時	平成30年2月3日 13時00分～17時00分
議事 決議事項	第1号議案 『来年度の事務局の運営体制について』
協議事項	① 学会の備品の保管について ② 平成30年度オープン CAE 講習会について ③ シンポジウム2018について
報告事項	① シンポジウム2017について ② サマースクール2018について ③ ニュースレターへの人材募集の掲載について ④ Web 編集について ⑤ 論文誌について ⑥ シンポジウム2017の講演賞について ⑦ OpenFOAM コード検証勉強会について

会議の概要

(決議事項)

第1号議案 『来年度の事務局の運営体制について』

本議案は、来年度の事務局の運営体制について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- 本学会の2015年度と2016年度の納税分について、事務局から税理士に決算業務が依頼されておらず、申告漏れとなっていた。そのため、税務署から青色申告の承認の取り消し通知が届いた。早急に事務局に決算業務を税理士に依頼し、納税してもらうこととする。
 - 現状では、事務局の委託先が2箇所であり、分担の行き違い等でトラブルが発生した。そのため、来年度は事務局の委託先を金田誠中小企業診断士事務所の1箇所に絞り、事務局業務全体の見直しを図る。
 - ただし、事務局業務の引継ぎが完了するまで、今年度と同じ2箇所の委託先と契約する。
- 本議案について、出席理事全員一致で可決した。

(協議事項)

- ① 学会の備品の保管について、下記のような意見が出された。
- ケーブル類等の学会の備品について、HPC システムズ株式会社に保管をお願いする。
- ② 平成30年度オープン CAE 講習会について、下記のような意見が出された。
- 流体・構造共に、日本機械学会認定講習を行う。
 - 過去の資料の公開は、作成者ではなく学会で管理し、講習の1年後もしくは資料バージョンアップのタイミングで、講師の了承のもとに公開するのが良い。

- 講習会のテーマについて
 - Modelica のニーズは高いが、一コマとすべきである。
 - MeshLab 講師候補:坪田氏
 - Overset Mesh 講師候補:川畑氏
 - 柴田理事から新しいテーマを出していただく

③ シンポジウム2018について、下記のような意見が出された。

- 東京近郊で開催する。
- 会場は民間施設利用も可とする。
- 開催曜日について、土日開催も視野に入れると、大学施設利用が検討可能となる。金曜日に講習会を別施設で開催することも検討する。
- 開催日が、計算力学技術者(CAE 技術者)資格の認定試験日と重ならないようにする。

(報告事項)

① シンポジウム2017について、柴田理事より、以下の報告があった。

- 無事に終了した。講演会参加者は119名で、地方開催としては十分な成果であった。
- 実行委員長と、会場を担当する現地実行委員長の2人体制は非常に有効であった。
- 収支は219,494円の黒字であった。黒字が大きかった理由は、会場2日分を無料で使えたことと、アルバイトを極力使わなかったことであった。ただし多くの参加者を見込める場合は、黒字にこだわらずにアルバイトを雇って、実行委員が講演を聴けるようにした方が良い。

② サマースクール2018について、高木理事より、以下の報告があった。

- 開催場所は、第二候補のおんやど恵で調整予定である
- 内容は「OpenFOAM 中級編」「コードカスタマイズ・コード検証」を予定している。講師は交渉中である。

③ ニュースレターへの人材募集の掲載について、西理事より、以下の報告があった。

- 賛助会員、公益会員、正会員の人材募集等の記事掲載について、運営方針(案)を決めることとなった。
- ニュースレターでの人材募集は、賛助会員と公益会員は無料で行う。

④ Web 編集について、高木理事より、以下の報告があった。

- WordPress のセキュリティ対策を強化した。
- Web アクセス統計情報を賛助会員に提供する。
- ベトナムからアクセスが多かった。

⑤ 論文誌について、西理事より、以下の報告があった。

- 「査読基準及び手順」の査読フローについて Web ページに掲載する。
- オープン CAE シンポジウム2017の有用な講演発表から論文への寄稿を推薦して欲しい。
- DOI 取得については、J-Stage で今年度の募集が締め切られており、4月以降に行う。

⑥ シンポジウム2017の講演賞について、中川会長より、以下の報告があった。

- 賛助会員の HPC システムズ株式会社からの優秀発表の副賞 Rescale 利用権五万円分について、受賞者の東京大学 山口氏から利用希望があった。
- 今年度の優秀発表については前年度と異なり、全セッションの学生を対象に審査を行うこととした結果、審査対象の学生を大幅に広げることができ有効であった。一方、発表者が審査対象の学生であるかが、特に非会員の学生については登録段階で不明で、当日までリストアップできなかった。登録段階でわかれば効率的である。

⑦ OpenFOAM コード検証勉強会について、今野理事より、以下の報告があった。

- OpenFOAM コード検証勉強会は、発表資料が A4サイズ46頁と順調に蓄積されてきた。次回の総会・付帯講習会において、OpenFOAM コード検証勉強会資料集を USB メモリに入れて3000円程度で販売することを検討する。売上の一部を著者に還元したいと考えている。著作権の扱いは勉強会で相談する。

2.4.8 第8回理事会

開催方法 電磁的方法による決議(電子メールによる表決)

開催期間 平成30年3月28日～29日

議事 決議事項 第1号議案『事務局業務(4月)の金田誠中小企業診断士事務所への委託』

会議の概要

(決議事項)

第1号議案『事務局業務(4月)の金田誠中小企業診断士事務所への委託』

本議案は、2018年4月の事務局業務を金田誠中小企業診断士事務所へ委託することに関して、配布の『業務委託契約書』により契約を結ぶことについて理事会の承認を求めるものである。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したため、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

2.4.9 第9回理事会

開催方法 電磁的方法による決議(電子メールによる表決)

開催期間 平成30年3月30日～31日

議事 決議事項 第1号議案『事務局業務(4月)の株式会社ワールドミーティングへの委託』

会議の概要

(決議事項)

第1号議案『事務局業務(4月)の株式会社ワールドミーティングへの委託』

本議案は、2018年4月の事務局業務を株式会社ワールドミーティングへ委託することに関して、配布の『業務委託契約書』により契約を結ぶことについて理事会の承認を求めるものである。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したため、定款第36条第2項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。